

2022年10月～2023年9月年度 事業計画書

基本方向性

1.AC工法等
プロモーション

2.研究開発
グループ

3.展示会等
共同出展

4.研究開発

5.海外ネットワ
ーク

6.宣伝広告

7.年間スケジュー
ール

今期何をやるか？

1.研究会の推進

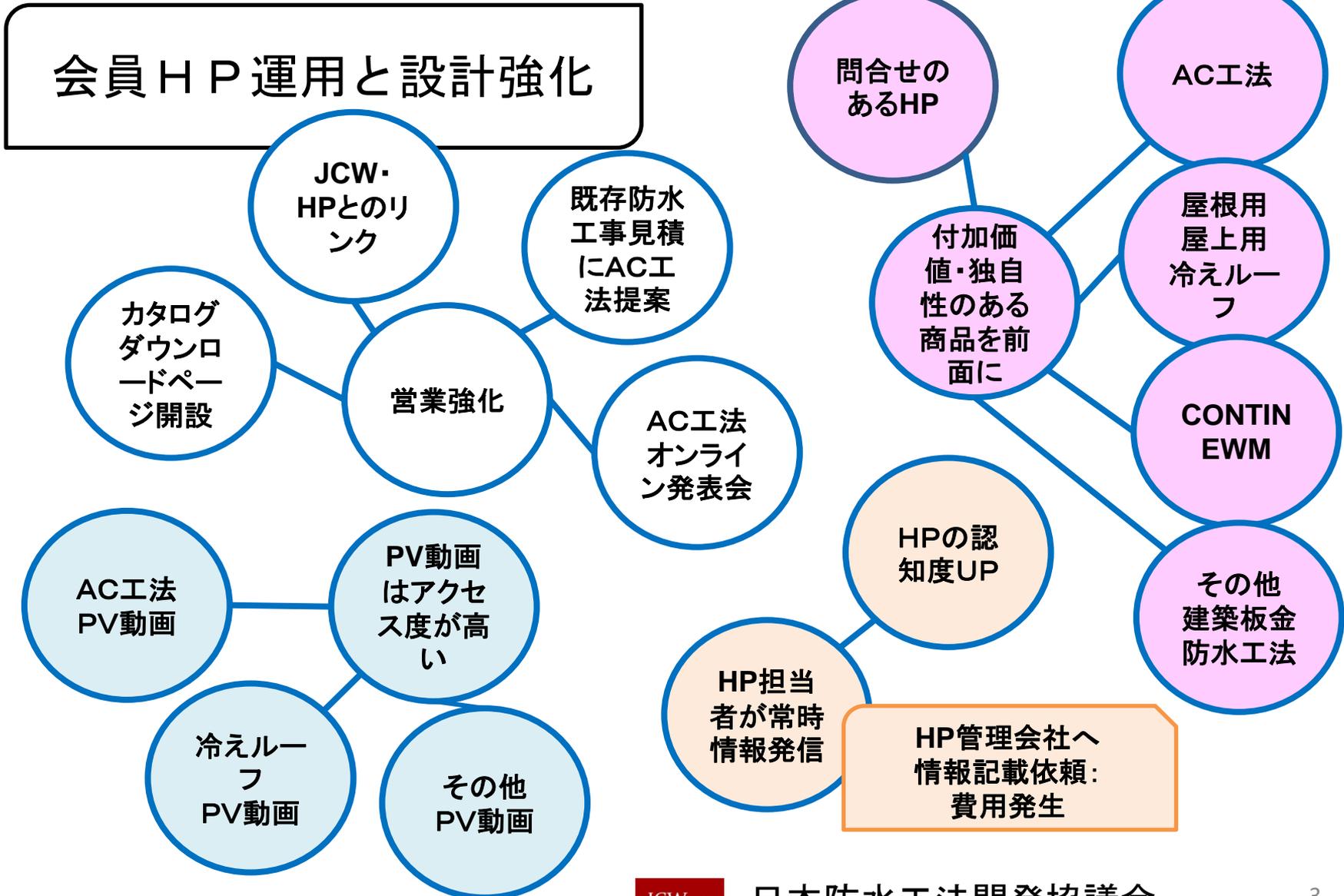
- ・ エアーコントロール工法売上アップ
- ・ 各社DX化
- ・ 新工法開発
- ・ 新カテゴリービジネス開発

2.総会時に各社事業発表会

将来に向けての課題

- 1.冷えルーフ重ね折板用新工法確立、サワヤと共有代理店へ材料を供給しJCWの収入増大させる。冷えルーフの市場拡大、陸屋根（防水）にも設置可能な工法を開発する
- 2.新規会員の募集について
- 3.日本防水工法開発協議会。社団法人にするか？何年計画で？
- 4.エアーコントロール工法の売上を増大させるには？

1. 屋上防水エアーコントロールの開発・販売促進



2.グループでの研究開発活動

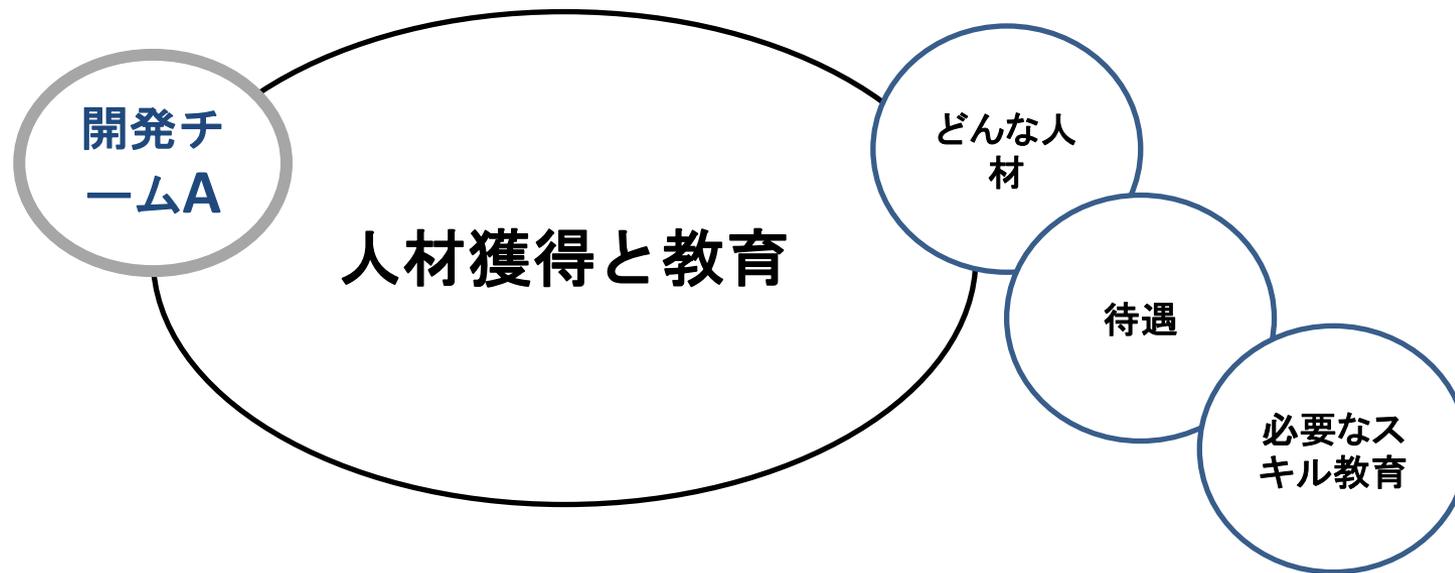
新規テーマ

会社名	A:人材獲得と教育	B:AC工法 販促・技術進化・ 無音工法	C:CONTINEW M開発・販売促進	D:省エネ工法 構造実験場の運用	F:冷えルーフ応 用	G:フリートーキ ング
三幸ケミカル	○			○		
ヨシダアニー		○		○	○	
レヂボン		○				
柳沼板金店				○	○	
トクボー			○			
両毛		○				
クボタ金属				○	○	
アイ・レック		○				
西野塗装工業	○					
並木樹脂	○					
達成工業		○				
リン・ドス			○			
共立レジン工業		○				
鋼商	○					
池田技研工業			○			
関西工業所	○					
ミヤウチ					○	
ビルドリペア技研工業		○				

テーマなし

途中
参加
退出
自由藤田
社長
より
提案

2. 研究開発グループ



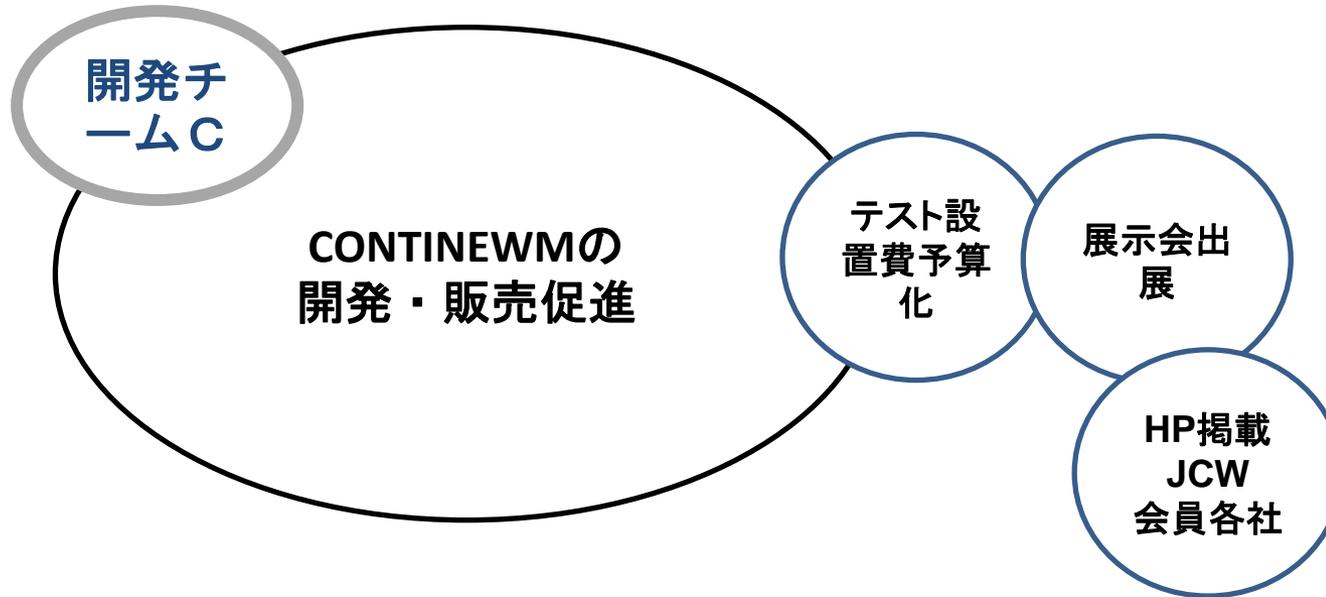
2. 研究開発グループ

開発チ
ームB

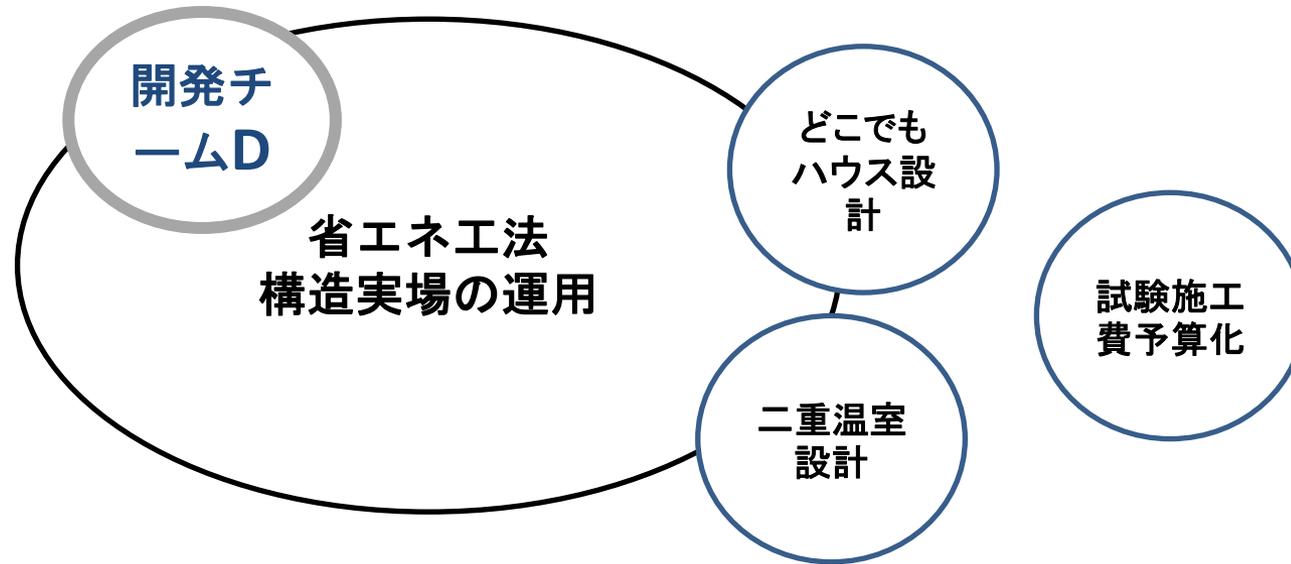
無音工法完成と販
売・特許取得

1. 無音工法の耐風圧の裏付け⇒データ解析大学へ委託
2. スーパー台風への対応⇒防水メーカーと共同で
3. 施工マニュアルの完成

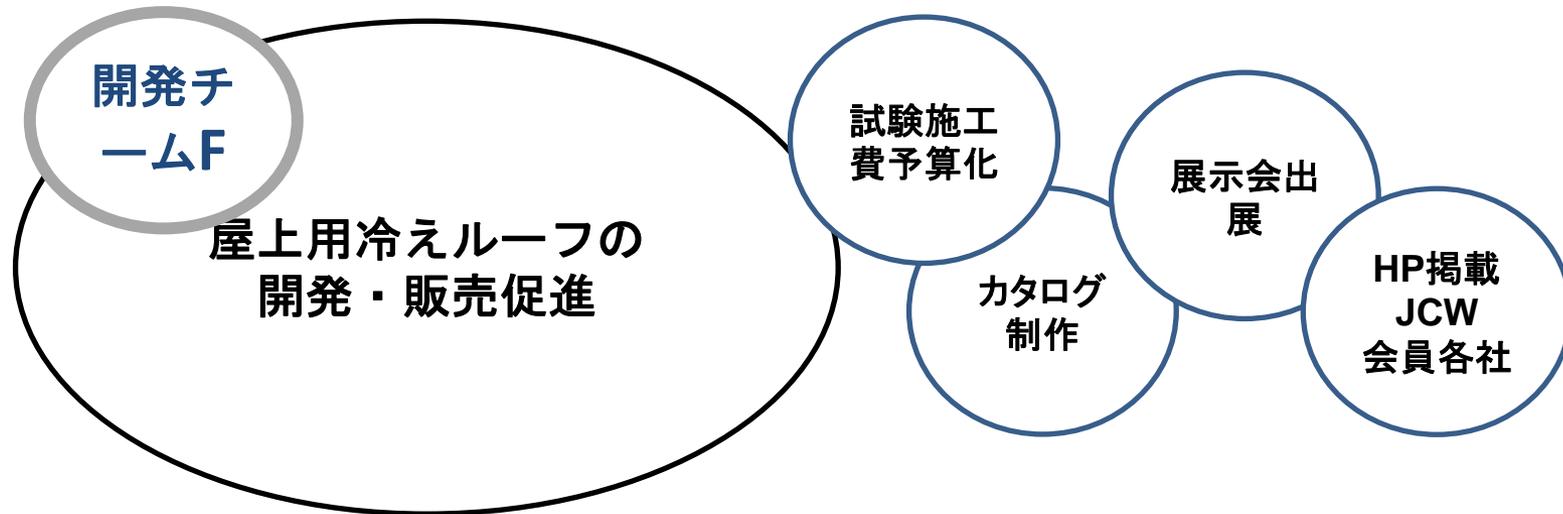
2. 研究開発グループ



2. 研究開発グループ



2. 研究開発グループ



3. 展示会・商談会・発表会への共同出展（2022.10～2023）

共同出展
賃貸住宅フェアなど

会員独自出展

リアル開催とオンライン開催の併用型が多い 会の出展原則

- ・ 今後も東京、大阪などは合同で出展、規模の大きい展示会は会も費用分担で出展（予定集客数で判断）
- ・ 地域限定の場合はその地域の会員が独自判断
オンラインがあれば会から出展する

	次頁予定表参照		

3. 展示会・商談会・発表会への共同出展予定
(2022.10～2023.9)

申込済

出展済

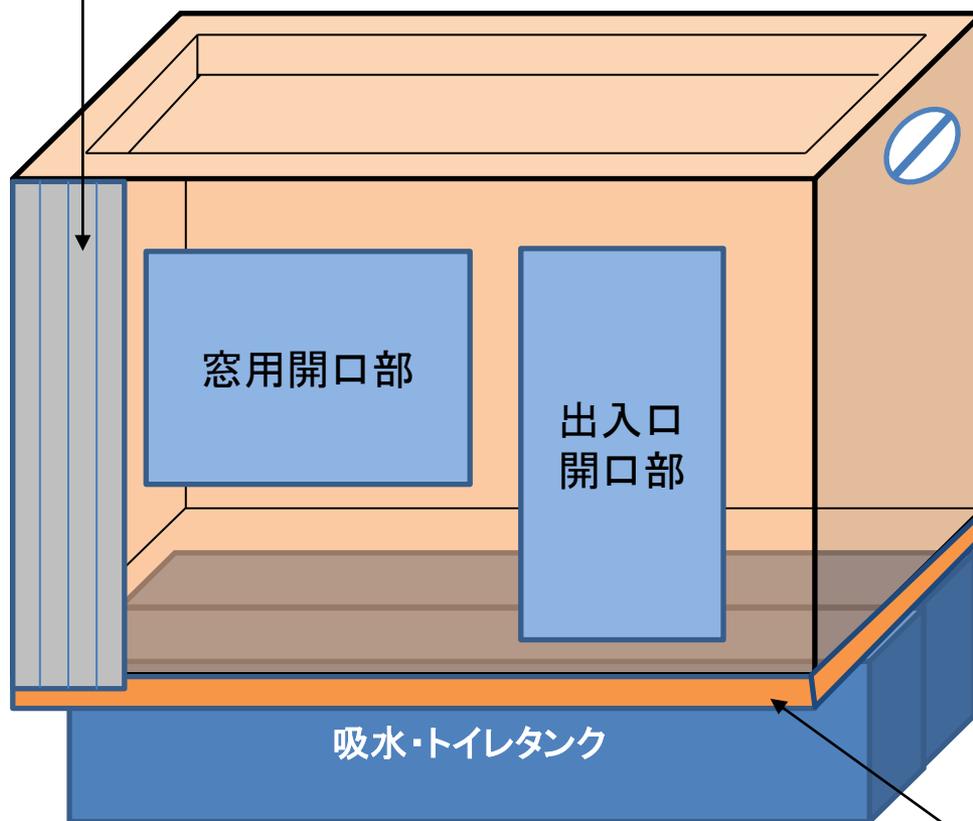
日時	展示会名	開催地	参加検討企業	出展料ほか	状況
1 2022.10.13～15	福島復興再生可能エネルギーフェア/zeroカーボンディ2022	ビックパレット福島	柳沼板金店・協議会	80,000円	来場者3日間で6512名、ブースには約30名、最終日は一般対象。CONTINEWM案件1
2 2022.10.20～21	おおた研究・開発フェア	羽田イノベーションシティ・WEB展示会	協議会	22,000円	来場者1,323名、ブースには約40名。屋上防水改修見積1件、CONTINEWM案件3件対応中
3 2022.11.10～11	北海道技術ビジネスEXPO 2022	アクセスサッポロ	三幸ケミカル ヨシダアニー	220,000円	
4 2022.11.10	ビジネスマッチ東北2023	夢メッセみやぎ	オンライン出展のみ	9,900円	
4 2023.2.1～3	テクニカルショウよこはま2023	パシフィコ横浜	クボタ金属・協議会	158,000円	2022年リアル来場8407名 オンラインアクセス27,803件
5 2023.2.8～9	彩の国ビジネスアリーナ2023	埼玉スーパーアリーナ	協議会	88,000円	
6 2023.6.7～8	長野しんきんビジネスフェア2023	ビッグハット	鋼商		
7 2023.6.7～8	EE東北 2023	夢メッセみやぎ	ヨシダアニー 柳沼板金店	11月下旬申込開始	
8 2023.7.19～20	賃貸住宅フェア東京	東京ビッグサイト	クボタ金属・アイレック・リンドス・達成工業・並木樹脂・共立レジン工業・協議会	363000円	

4. 研究開発テーマ1 構造実験場での建築モデル実証

移動式多目的ハウス
構造研究

目的：移動式ハウスを研究開発し、販売する。現地施工は行わず、組み立てたハウスを移送するシステム。

金属サイディング



構造技術開発

- ・ 空気循環で電力いらずな室内環境
- ・ 健康になるハウス
- ・ 給水、トイレタンク設置
- ・ 樹脂製
- ・ CLT構造（パネル厚36～60mm）
- ・ 遮熱＋通気＋A C工法
- ・ トラックで運搬できるサイズ
- ・ 壁仕上げ：金属サイディング

省エネ技術開発

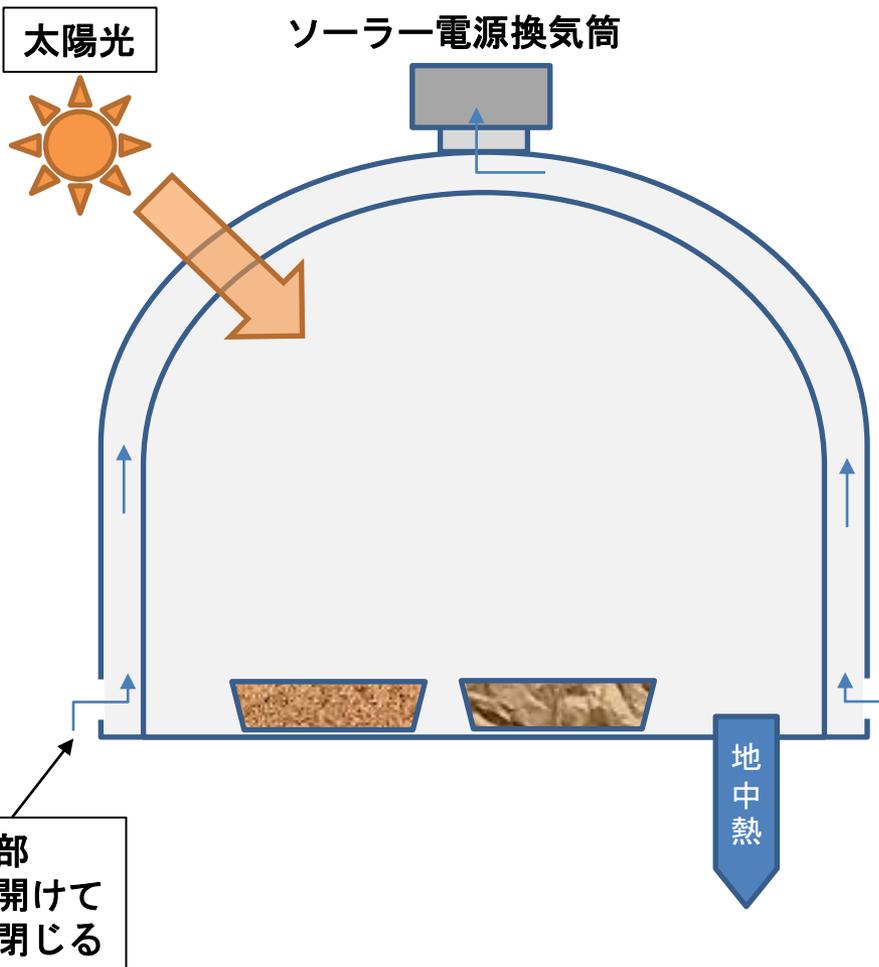
- ・ 地中熱利用システム
- ・ 太陽温水器利用システム
- ・ 太陽光発電・蓄電池活用
- ・ マイクロ風力発電機活用
- ・ 雨水利用システム

引き出しベランダ

4. 研究開発テーマ2 構造実験場での建築モデル実証

多目的農業ハウス
構造研究

目的：二重シート構造の温室で内部温度が夏、30℃以下、冬20℃の温室を開発し、販売する。



構造技術開発

- ・高耐久シート活用（荻原工業）
- ・二重シートで熱を制御
- ・空気循環で熱制御
- ・紫外線透過率50%以上の透明シート

生産技術開発（生産量、品質向上）

- ・フルボ酸活用で土壌改良
- ・菌根菌活用で土壌改良

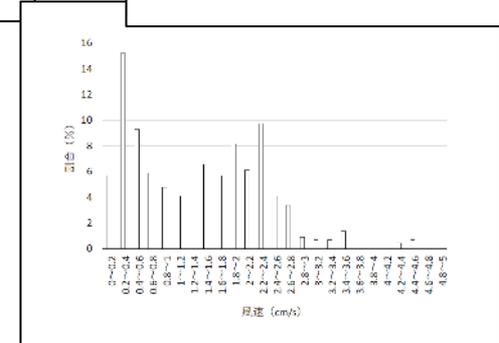
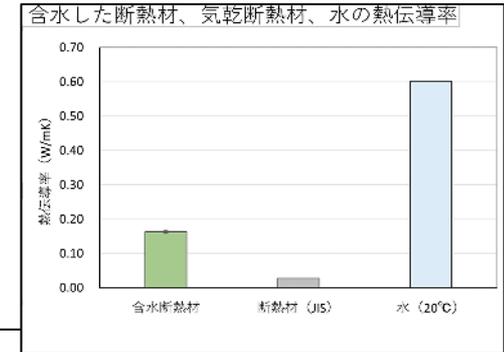
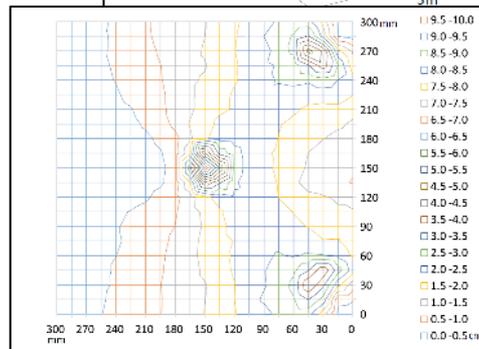
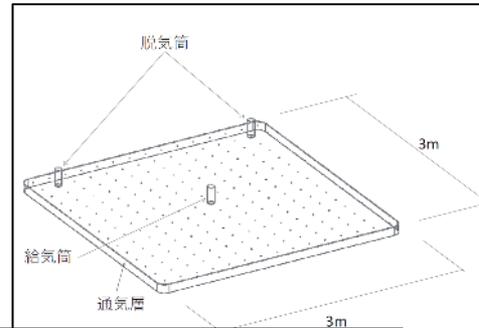
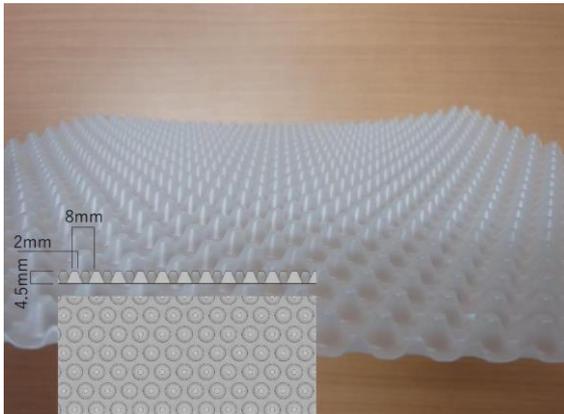
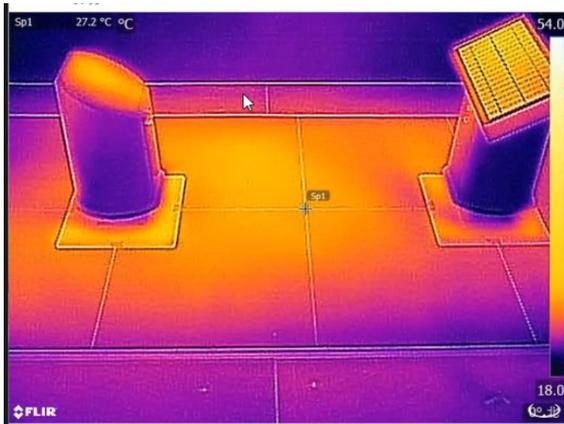
省エネ技術開発

- ・地中熱利用システム
- ・太陽温水器利用システム
- ・太陽光発電・蓄電池活用
- ・マイクロ風力発電機活用
- ・水素ガス発生器活用
- ・雨水利用システム

4. 研究開発テーマ 3

A C工法通気実証

目的：通気システムによる熱・水分除去効果は認識されつつあるものの設計者における断熱材の熱伝導率ありきが浸透しており、宇都宮大学大学院系井川先生にご尽力願い、日本建築学会での通気仕様の優位性確立を推進するため、研究を継続する。



4. 研究開発テーマ 4

研究開発者交流会

目的：全国の研究開発者にご講演をいただき、当会及び会員の知見向上とともに共同研究テーマの発掘を図る。

ご講演テーマは運営評価委員会・会員各社の意見をお聞きして事務局が研究開発者は推薦。

4. 研究開発テーマ5



技術研究所

目的：若手経営者を中心にメンバー構成し、将来会員が直面する課題解決に向けたテーマを研究する。

研究テーマは研究開発グループと重ならないもの。当面は将来的な課題をオンラインでフリートーク。

例) 後継者問題、社員採用と労働条件、社員教育の方向、デジタル化と人材、開発費用の必要性等

4. 研究開発テーマ6

アイ・レックさんのAC工法に関する
共同研究、実証試験状況。

1. 双方向ファンによる屋上防水エアーコントロール工法

小山高専鹿野先生との共同研究。双方向ファンを活用した屋上防水層内の温度が高い時は低く、低い時は高くなるようファンの排出、吸入を一つのファンで調整を可能とする。

2. CLT陸屋根の脱気乾燥システムの開発に関する研究

宇都宮大学中島先生との共同研究。CLTは基本的に木質材のため水分に弱く、陸屋根構造の場合は、結露等腐食する。AC工法により、陸屋根構造体の劣化を防ぐ研究。

6m×6m×@0.9の試験体を製作し、層内の温湿度を計測する。

5. 海外事業展開の検討

防水材の国内販売は頭打ちで年々減少しているので海外展開は必須

海外とのネットワーク
構築

海外への出張・調査

- ・ アセアンの方々とのネットワークを作り交流（TV会議）
- ・ 人員を派遣して調査

予算としては確保し相談しながら進める

6. 宣伝広告

建通新聞:11月東京版マンションリニューアル特集に掲載
1回につき 100,100円

毎年総会取材記事を掲載

通気する屋根・屋上、健康寿命を延ばす断熱・遮熱・通気工法開発、
折板屋根の熱制御【冷えルーフ】、空調費削減商品【CONTINEWM®】、
ウィルス・除菌空気清浄機(オゾン式・光触媒式)の普及。

三幸ケミカル(札幌市)	クボタ金属(群馬県大泉町)	鋼商(長野市)
ヨシダアニー(秋田市)	両毛(伊勢崎市)	池田技建工業(大阪市)
レヂボン(仙台市)	並木樹脂(春日部市)	関西工業所(神戸市)
トクボ(本社/郡山市)	リン・ドス(文京区)	ミヤウチ(徳島市)
柳沼板金店(田村市)	共立レジン工業(豊島区)	ビルドリペア技研工業(北九州市)
アイ・レック(宇都宮市)	達成工業(千葉市)	
西野塗装工業(常陸太田市)	保証防水工業所(横浜市)	

JCWR+D

日本防水工法開発協議会

Japan conference of construction works for research and development

〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東4-23-11

TEL.045-367-1712

ベース設計資料:3月・9月発刊・PR写真、NETIS記載内容など掲載



施工手順

1回につき110,000円 反響毎回約50件
反響先データを会員各社に共有、展示会招待等に活用

・媒体を変えるのもありだが
継続して認知度を上げるように掲載内容を考
える

7.年間予定表 日程をご確認下さい。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総会・発表会		11/15 火										
運営・評価委員会			1/19 木					5/12 金				9/8 金
技術研究会												
研究者交流会								6/16 金				
冬季研究開発会議					2/24 金							
夏季研究開発会議										7/14 金		
研究開発チーム活動	各チームがオンラインで実施											
独自商品発表会（通年）	会員各社がオンラインで実施											
海外調査・ネットワーク作り												
展示会出展	10/13～15 郡山市 10/20～21 大田区	11/10～11 札幌市 11/10 (仙台市) オンライン			2/1～3 横浜市 2/8～9 さいたま市						7/19～20 東京都	
見学会												